

**製品名: ヒストン H1.3 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe02084**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.12mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 22 kDa; Observed MW: 30 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	H1-3
別名	Histone H1c; Histone H1s-2
遺伝子 ID	3007
SwissProt ID	P16402
免疫原	ヒトヒストン H1.3 の合成ペプチド

**背景**

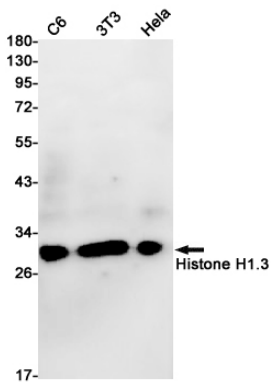
ヒストン H1 タンパク質は、ヌクレオソーム間のリンカー DNA に結合し、クロマチン繊維と呼ばれる高分子構造を形成します。ヒス

トンH1は、ヌクレオソーム鎖を高次構造の繊維に凝縮するために不可欠です。また、クロマチンリモデリング、ヌクレオソームスペーシング、DNAメチル化を介して、個々の遺伝子転写の調節因子としても機能します。

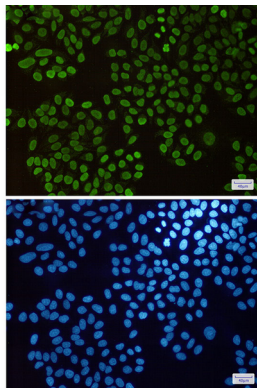
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

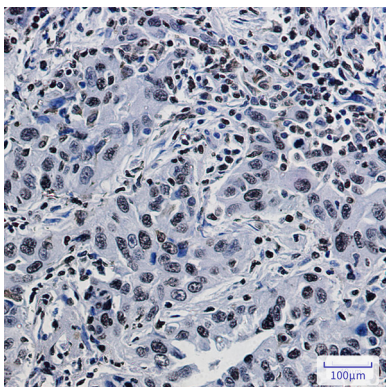
## 画像データ



ヒストン H1.3 抗体を使用した C6、3T3、HeLa 溶解物中のヒストン H1.3 のウェスタンブロット分析。



ヒストン H1.3 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中のヒストン H1.3 (緑) の免疫細胞化学分析



ヒストン H1.3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。